

コロナ禍が続いております。今後しばらく豊島区は、国や東京都の対応方針に準拠し感染対策を続けてまいります。巣鴨図書館をご利用いただくすべての皆様に安心していただけるよう当館の行う感染対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

今回は、巣鴨図書館のWi-Fiについてご紹介いたします。今年7月1日から館内で無料Wi-Fiがご利用いただけるようになりました。1階のパソコン席（4席）はパソコン利用のお客様。それ以外の閲覧席ではパソコン以外のタブレットやスマートフォンをご利用いただけます。ご利用については一定の制限がございますので、カウンター職員にお尋ねください。また、現在はコロナ過ということもあり、館内での滞在時間を1時間以内とさせていただいております。特にパソコン席は、ご利用になりたいお客様が順番を待つケースもございます。1時間以内のご利用を厳守していただきますようお願いいたします。無料Wi-Fi設置のようにお客様視点でのサービス向上に努めてまいりますので引き続きよろしくお願いいたします。（館長）

## じそくんといっしょに！SDGs ご報告

402名もの方が参加してくださいました。一人ひとりが、自分にできることを一生懸命考えてくれています。提出いただいたシートは、地下ギャラリーに展示しています。



## すがもがーでんだより VOL.2 ～すがもぎゃらりーアンケート～

すがもがーでん通信第2号では、巣鴨図書館地下にオープンしたギャラリーについてのアンケートを企画しました。ギャラリーでは、SDGsを初めとした巣鴨図書館のさまざまな取り組みを紹介しています。

アンケートにお答えくださった方は、皆さん楽しんでくださったようで、お礼に巣鴨図書館オリジナル、がーでんで採れた収穫物を使ったプレゼントを差し上げました。



乾燥野菜のクリップ



菜の花の種



### 編集後記

コロナの脅威を感じながらの2回目の夏が終わろうとしています。この間、図書館の行事も様変わり…持ち帰り形式等、工夫をこらしながら、密を避けつつ、試行錯誤中です。どんな状況下でも、「できることを少しずつ」を合言葉に、チャレンジしていけたらと思っています。ご興味があるイベントありましたら、積極的にご参加ください。お待ちしております。（M）



久しぶりの  
がーでんだより  
詳しい内容は  
後にできます。



## 食いしん坊司書の部屋



食いしん坊司書の  
もう一つの顔は、  
すがもがーでん  
**名ばかり管理人です。**  
というわけで？  
今日は**本物の管理人さん**  
をお招きしました。

今回は、Q&A方式で、がーでんのこと、植物について聞きました。

Q) 「一番うれしかったこと」は？

A) 水やり等のお世話をしていると、来館者の方から色々な声をかけていただくのですが、ある日、小さな男の子が、「図書館に来るたびにしているよ。」と言ってくれました。とっても励みになった一言です。

Q) 「一番悲しかったこと」は？

A) そら豆と絹さやが順調に育っていたのに、うどん粉病で全滅してしまいました。花や野菜を収穫するまでの大変さがよくわかり、それからは八百屋さんに並んでいる野菜を見る眼も変わりました。

Q) 「一番好きな植物」は？

A) ヤマボウシです。

オリンピックが開催された東京体育館の近くの街路樹の中にあるヤマボウシの中の1本は、私の木だからです。東京都で実施していたマイツリー企画に参加し、ヤマボウシを植えてもらい、プレートには、「あまねく道は存在する」と刻んでもらいました。

素敵なエピソードありがとうございます。ヤマボウシ、見にいきます！

管理人さんは、手先もとても器用で色々なものを作ってくれます。前出のすがもがーでんの収穫物を使った各種グッズもたくさん作ってくれました。これからも、一緒にすがもがーでんを育てていきましょう！

### おすすめの本はこちら

『植物は<知性>をもっている  
20の感覚で思考する生命システム』  
ステファノ・マンクーズ／著  
NHK出版 (471 マ)

『種から種へ命つながるお野菜の一生』  
鈴木純／文・写真  
上池袋・目白にあります

## じぞうくんのそばくな疑問



初めまして、ほくはじぞう。  
心にうつりゆく  
ちょっとした疑問を  
ここでつぶやいていくよ。



じぞうくんのところに、かっぱくんが遊びに来ましたよ。じぞうくんに教えてもらった本、怖かったけど面白かったみたいですね。

**かっぱ** こんにちは。紹介してもらった本、そくそくして、すごく涼しい気分になりましたよ。

**じぞう** こんにちは。次はどんな本が読みたいの？

**かっぱ** 今度は、海外の怖い話にも挑戦したいです！

**じぞう** それじゃ、最初はこちら、巨匠スティーヴン・キングの代表作『シャイニング』。厳しい寒さと雪に閉ざされ、外界から完全に隔離されたホテルに、作家とその妻、5歳の息子が管理人として住み込んだところから始まる物語。息の詰まるような閉塞感と狂気、緊張感が満載のモダンホラーだよ。キング作品には「刑務所のリタ・ハイワース」など、そんなに怖くないのもあって、そちらもいいよ。

もう一つはこちら、『うろんな客』。不協和音が鳴り響く、バッドエンドがお得意なエドワード・ゴーリーの作品。その中で、そんなに怖くないものを選んだよ。うろんな客の正体、見抜けるかな？ちなみに他の作品はもっと救いがない感じ。心して読んでね。ホラー作品って、怖いのに魅力的なのは、本当に不思議。「怖いもの見たさ」ってやつかな？

それじゃ、そくそくしながら、厳しい残暑を乗り切ってね。

### じぞうくんおすすめの本はこちら

①『シャイニング 上・下』文藝春秋  
スティーヴン・キング／著 (B キ)

②『うろんな客』エドワード・ゴーリー／著  
河出書房新社

## じぞうさんぽ

### <雑司が谷建築さんぽ>

『雑司が谷旧宣教師館』をご存じでしょうか。明治40年にアメリカ人宣教師J.M.マッカーレブにより建てられ、『旧マッカーレブ邸』とも呼ばれるこの洋館は、豊島区に現存する最も古い近代木造洋風建築です。今回の出発は、地下鉄副都心線雑司が谷駅。雑司ヶ谷霊園沿いの小径を数分歩き、雑司が谷保育園の角を右折、旧宣教師館通りを入ると、鮮やかな緑に縁取られた白い2階建て木造家屋が現れました。まずはお庭から外観を鑑賞。1・2階とも南側は大きな窓で囲われた広縁で、全面ガラス張り。近代アメリカンなデザインにうっとりしつつ、玄関へ。入ってすぐの階段を上がります。各部屋の天井は格子状に装飾されており、2階の格子の縁は素材に竹が使われていてどこか東洋風。菱形にデザインされた窓の棧も素敵です。1階の居間は出窓に沿って作られた木のベンチや暖炉の大きなマンツルピースが見どころ。食堂は外の広縁から日光が入り、明るく良い雰囲気です。ご時世のため、残念ながら『赤い鳥(復刻版)』などが読める児童書コーナーはお休みでした。ちなみに館内の展示は、1階がマッカーレブの活動の紹介、2階はマッカーレブの書斎と、近代に雑司が谷に在住だった文化人の紹介でした。

見学後は、雑司ヶ谷霊園を散策し、都電荒川線雑司ヶ谷駅から東通りを池袋方面へ。途中、南池袋小学校の前を通りかかると、『豊島ふくろう・みみずく資料館』の看板を発見。校門をくぐると、校舎までのアプローチに沢山の展示物が、『雑司が谷 ここがおすすめ!』と題した、4年生の皆さんの作品でした(総合的な学習の課題だそう)。題材は、鬼子母神堂のケヤキ並木から、雑司ヶ谷霊園の松の木、街角の井戸まで様々。その中には旧宣教師館のものもあり、秘密の地下室があるという記述にびっくり(今度行った時は探してみます!)。資料館は玄関脇の小部屋で、ふくろう・みみずくに関するパネルや工芸品などを展示。ゆっくり見ても20分くらいの、かわいらしい博物館でした。

( A )

旅のお供に  
ふさわしい図書館  
蔵書を紹介

ともぼん  
お供本

『死ぬまでに見たい洋館の最高傑作』  
エクナレッジ (523 シ)

『ぶらり雑司が谷文学散歩』 豊島区  
(KO 910)